

平成28年度第1回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成28年7月7日（木）14：00～16：10

場 所：ウェルセンター2階会議室

【出席者】

湖北医師会：手操会長

長浜市連合自治会：川合理事

湖北歯科医師会：川瀬副会長

長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長

湖北薬剤師会：山内監事

市立長浜病院：徳田看護科長補佐

長浜赤十字病院：大橋地域医療連携課長

事務局：健康推進課 市川部長、織田次長・横田参事・藤副参事・小寄副参事、前田副参事・伊吹主幹・金戸主事

【代理出席】

長浜市立湖北病院：中川課長

長浜市健康推進員協議会：中川会長

【欠席者】

湖北健康福祉事務所：瀬戸所長

長浜市老人クラブ連合会：北川副会長

長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：宮村養護教諭

長浜市社会福祉協議会：神照郷里地域包括支援センター所長

健康づくり0次クラブ：大橋副理事長

【要点録】

1 開会（挨拶：長浜市長）

2 議事

「健康ながはま21」第3期（平成26～30年度）

平成27年度の実施結果と平成28年度実施計画について（資料1）

①目標達成状況について（資料2）

②その他健康推進事業について（資料3～6）

【事務局説明】

①「健康ながはま21」第3期2年目となる現在の目標達成状況について、資料2に基づき報告しました。

②健康推進事業について、資料1の中から下記の事業を報告しました。

- ・健康づくり事業(健康推進員協議会塩分測定結果)（資料3）
- ・喫煙対策事業（資料4）
- ・妊娠・出産包括支援事業・歯科保健事業（資料5）
- ・山間へき地診療所の状況について（資料6）

会 長：資料2 健康寿命について、日本人は平均寿命がすでに長い。健康寿命はいくつかあって、国の言う滋賀県女性が低いという健康寿命は、国民生活基礎調査の設問の結果であり、国民性があり、国同士比べるのはどうかと考えます。

長浜市の計画で用いている健康寿命は介護保険の介護度で判断しており、日本は同じバロメー

タで計っている客観的なデータなので健康寿命の延伸の指標として経年でおっていくのは良いと考えます。ただし、県ごとに比較するのはどうかと考えます。

塩分摂取量は現在も青森県は高く、隣の秋田県は戦後 27g/1 日だったものが、県の政策で減らされた。資料 3 で説明いただいた長浜市の健康推進員さんの地域における地道なみそ汁の塩分測定の実践は是非今後も続けていただきたい。

禁煙対策として、資料 4 で説明いただきましたが、小学 5 年・中学 2 年でタバコ・ニコチンの害について、教科書に載っていますし、指導いただいています。

自殺率は、日本は国や自治体の政策で数年前よりは減ってきたが、健康問題だけではなくワークライフバランスなど複合的な問題を含んでいます。

むし歯については、資料 5 で説明いただきましたが、歯磨きというより、おやつとの与え方や食事の方が課題ですね。

休日急患診療所は、行政の啓発もあり定着してきていますね。

資料 6 で説明いただいたへき地の医師確保は、複数医師体制にしても難しいですね。

食育の分野で肥満が問題となっている一方で、ごはんを食べられない子どもたちの「こども食堂」など複合的な問題もありますね。

委員：自殺率は先進国の中で韓国が第 1 位です。

むし歯の状況は、1986 年約 30 年前 12 歳で 4.58 本でしたが、現在は 1/5 の 1 本です。歯磨きにフッ素が入っていますし、国全体で改善し、近年 1 本という状態です。

委員：いろいろな説明を聞き、少しずつ地道に行政がされていることで改善してきているということが各分野で分かりました。救急に従事していると、休日急患診療所をよく知っておられますし、お薬手帳も近年持ってこられるようになりました。

委員：3 病院と市立彦根病院と救急医療の会議に出席した際、小児の救急医療は現場で大変困っておられることを知りました。病院勤務の小児・産科医は減っており、救急対応のため当病院は 3 次救急病院でもあるため 2 人体制で厳しい状況です。夜間に自分の仕事の都合で受診したり、夕飯を食べてから来る人、軽症で来る人がおり、日中の休日急患診療所には感謝していますが、夜間に小児科医は疲弊しています。発熱や吐き気等どういふときに救急受診をするか教育が必要です。

かかりつけ医を持ってもらうことが大切で、長浜病院さんも啓発されていますが、当院も本年度取り組んでいきます。街中の方で、当院がかかりつけ医だという方も多くいますが、地元のクリニック等かかりつけ医を持っていただくことが必要です。

事務局：国保の保険の切り替えの窓口でかかりつけ医の啓発チラシを配布できると思います。

委員：院外処方で患者さんと直接接するようになり地域で話せる機会が増えました。かかりつけ薬局として、家族みんなが高脂血症であるということが見えてきて、助言できる機会も増えてきました。ただし、わかっているけれど生活改善できない人には、言えないこともあります。

今後、高齢者も増えていくので家族ぐるみで関わっていただくことが重要になってきます。

会長：食事指導なども大切ですね。おやつが悪いのではなく、時間を決めて食べる、ゲームをやりながらお菓子やジュースを長時間だらだら食べるような食べ方が悪いのです。

委員：薬物乱用の指導に青少年センターからの依頼で市内小 5~6 年にたばこの害をお話ししていますが、タバコ屋さんの子どもがクラスにおり、体に悪いものを売っているといわれるから、たばこを悪いといわないでほしいと事前に先生に言われ、難しい立場におかれる時があります。

委員：計画の指標設定の中身が住民に伝わっているのか疑問です。働きかけの方法を変え、強く働き掛ける必要があると思います。

委員：民生委員児童委員で主任児童委員と共に長浜市全域で赤ちゃん訪問を昨年度から始めました。

初めての歯磨きセットを持って訪問しているところです。たばこのにおいのするお母さんや、木之本地区の人で高月の健診会場は遠いから行かない人などがいるので、ここで伺ったような知識を民生委員も取得して、お母さんへの家庭教育へつなげたらと感じました。民生委員も出前講座で消費生活の詐欺などの講座などは勉強してきましたが、同じ出前講座なら、今後、健康推進課の講座で、今後学ぶべきだと思いました。他に、民生委員の取り組んでいる事業として、ペットボトルにお薬手帳を入れて、緊急時用に冷蔵庫へ保管するよう、一人暮らしの方などに進めています。

委員：湖北病院では、慢性的にマンパワーが不足しており、医師不足のため、診療所と連携していきたいのでよろしくお願いします。

委員：みそ汁の塩分測定をすすめています。焼き物とか塩分の多い食事も多く、全体としての減塩をすすめたいと思っています。健康推進員が言っても聞かない方には先生方から言っていただくと全く違うので、よろしくお願いします。

4 閉会（挨拶：健康推進課次長）